



斜面緑化の過去・現在・そして未来

— これからの自然回復緑化のあるべき姿を考える —

2011年度 日本緑化工学会 公開シンポジウム

2011年度公開シンポジウムでは、生物多様性国家戦略2010, URBIO 2010, COP10をはじめ、環境に対する社会的認識が着実に高まりつつある中において、依然として「みどり」の質よりもコストを重視した緑化工事が目につく斜面緑化をテーマに、生物多様性に配慮した自然回復緑化の普及のための前向きな議論を行ないたいと思います。一般の方を含め、広く興味ある方々の参加をお待ちしています。

プログラム

基調講演

斜面緑化の歩みと今後のあり方

亀山 章(東京農工大学名誉教授・元日本緑化工学会会長)

話題提供

生物多様性に配慮した緑化工法の現状と課題

松江正彦(国土技術政策総合研究所 緑化生態研究室)

法面の自然回復緑化が抱える問題の実態と今後のあり方

山田 守(SPTec YAMADA)

生物多様性時代における緑地の評価手法

今井祥之(高速道路総合技術研究所 環境・緑化研究室)

生物多様性に配慮した植物材料供給の実態と今後のあり方

入山義久(雪印種苗 千葉研究農場)

自由討論

これからの自然回復緑化のあるべき姿を考える

コーディネーター: 福永健司(東京農業大学 地域環境科学部)

日時: 2011年2月1日(火) 13:30~17:00

13:00受付開始, (事前申込不要)

場所: 国立オリンピック記念青少年総合センター

東京都渋谷区代々木神園町3-1

参加費(資料代): 一般1,000円, 学生400円

主催: 日本緑化工学会 <http://wwwsoc.nii.ac.jp/jsrt/>

後援: 環境省, 国土交通省, (特非)日本緑化工協会,

(社)全国特定法面保護協会, (財)日本緑化センター

お問い合わせ: 日本緑化工学会 企画事業部会

大澤啓志 (日本大学 生物資源科学部)

吉田 寛 (東興ジオテック 技術開発部) hiroshiyoshida@toko-geo.co.jp

